

コーヒ―畑に林檎のような白い花が咲いていた。

オーエンスタンレー山脈の北麓、ココタに、無電機と無線技士を残し、岡田誠三は、同僚の朝日新聞記者、佐藤忠雄とともに、堀井富太郎少将率いる部隊に従った。

兵士たちは、二十日分の米に粉味噌、粉醤油、手榴弾、小銃弾、円匙、十字鍬、三角幕など、五十キロの荷物を木樵の負子で担いでいた。

これが、砲兵、工兵になるとさらに重さが増えた。

その荷物を背負って、標高四千メートル、延長六百キロの山脈を人力で越えるのである。

「まるで厨子を背負った行者だな」

岡田は、どこまでも続く隊列を見上げて云った。

発端は、ミッドウェイ海戦だった。

ミッドウェイでの敗北の結果、日本が根拠地としていたラバウルが危機にさらされた。

ラバウルとポートモレスビーは指呼の間であり、敵がポートモレスビーから反攻を仕掛けてくるのは必至であった。

大本営は懸念が不足した事に鑑み、陸からの攻撃でポートモレスビーを占領する計画をたてた。東部パプア地方、北のプナ付近から山脈を縦断し、ポートモレスビーを急襲、制圧するという計画だった。

堀井部隊の参謀である田中豊成中佐は、トラック、自動車はもちろん、駄馬も登山に使えないため、すべてが人力による補給になる事、人力で長大な補給経路を維持する事は到

最後のピーク、イオリバイロ峰に達し、オーストラリア軍の山中陣地を夜襲で占領した。

その次の日の朝。

「海だ、ポートモレスビーの海が見えるぞ」

岩にしがみつきながら、兵隊が叫んだ。

果てることなく続いていた山塊が、視界から消えている。

樹海の垣がかりから透いて、海が輝いている。

全部隊の休止が命じられた。

当初、喜びで迎えられた休止は、長引いた。

ガタルカナル島での、アメリカ海兵隊との戦闘が激化している、という情報が流れた。

第十六軍司令官今村均中將から、堀井少将に宛てて、「貴部隊ハ現在位置ノ第一線ヲ集取シテ、スタンレー山系中ノ作戦上適当ト思料スル地点へ後退セヨ」と打電してきたのである。

田中参謀が、命令に従って後退作戦について語り始める。連隊長の一人が怒鳴った。

「地図に線を引いているお前に何がわかる。部下の血を流してここまで来たのだ、一歩もさがる事はできんぞ」

皇 連隊長の傍らで、中隊長が汚れた包帯で巻いた刀の束を握

天 っている。
和 「このまま、一路、ポートモレスビーまで進撃していただき

昭 たい」
アンペラの上に端座している堀井少将は、飯盒の蓋に立て

底、不可能との意見を具申したが、大本営の意思は変わらなかった。

山脈に入ってみて、スタンレーは屋根つづきではなく、山頂が一つ、一つ独立している事がわかった。

一つの山頂を越えると谷底のジャングルまで下り、そこからまた麓に出て次の山頂を目指すのである。

オーストラリア兵は、山腹の高い位置に散兵線を敷き、あらかじめ照準をあわせて、昇ってくる日本兵を狙撃した。

部隊が前進した後に、白木の墓標の列が、長く長く続いた。

ジャングルのなかには、ピロトのような苔が敷き詰められていて、温室のような過飽和の状態だった。ひとたびジャングルを出ると、今度は硬く鋭角的な鉱物の世界だった。

携行した食料は、食べぬうちに皆腐った。

岡田は、二つのリュックのうち、一つに薬品を携行していたがそれもみな食べてしまった。何でもいから、口に入れたい。機械的に足を動かしていた。

「敵さんの残した、凄いい食料があるぞ」

誰かの叫びで、隊列は途端に崩れた。

パプア人の小屋に、兵隊がむらがっている。

岡田も飛び込んでバターとビスケットとコンビーフを一度に口のなかに突っ込んだ。

出発から二週間が経った。

スタンレー山系の五分の四を踏破してきた。

た蟻蝮を見つめていた。

司令部の殺気は消えない。

色白の副官が、電報を二週届けしてきた。

「スタンレー山系ノ戦線ヲ撤収シ、可及的速カニパプア海岸ニ撤収セヨ」

二週は同文で、一通は今村から、もう一通は大本営であった。

この事は、命令が今村の独断によるものでなく大本営、つまりは彼の人から発せられた事を意味していた。

「陛下の命令であれば、すべてやむをえない」

堀井少将が云った。

連隊長が、不動の姿勢をとり、敬礼した。

一座の将校すべてが続いた。

(最も抽象的だと思っていた天皇の概念が、今、もつともアケニアルに機能している)

岡田は戦慄した。

堀井少将は岡田と佐藤記者に声をかけた。

「君たちは、明日、すぐに下がってくれ。非戦闘員を養うことはもう出来ない」

その言葉に岡田は、記録者をもつだけの文化的余力がこの部隊にはもうないのだ、と思った。

田中参謀が、砲兵隊長と論争していた。

「砲兵が砲を捨てていけますか、参謀、断してできません」

「しかし、今では、一人でも生きている者を返すことが、将